

マンガン水質基準超過、水道水の着色 Q&A 集

Q-1 飲んでも大丈夫なのか？

A-1 マンガンはヒトの身体にとって必要な物質です。
小児や大人の1日の摂取量の目安は3~4mg程度と報告されており、そのほとんどは食べ物から摂取しているものと言われています。
今回の測定で出た数値である1Lあたり0.08mgは目安の50分の1であり、1L飲んだとしても健康への影響はないものと思われます。
ただし、極めて多量に摂取した場合は健康被害があると言われております。

Q-2 赤ちゃんが飲んでも大丈夫なのか？

A-2 厚生労働省の報告によると、5カ月までの赤ちゃんの目安が1日あたり0.01mg程度、6~11カ月までの赤ちゃんの目安が1日あたり0.45mg程度と言われています。
赤ちゃんが飲むので、ご心配されるのであれば赤ちゃん用のペットボトル水で代用して頂ければと思います。

Q-3 いつ解決するのか？

A-3 現在、飲み水のマンガン濃度を下げる対応をとっており、数日以内の解決を目指しています。

Q-4 今回の原因は？

A-4 津軽広域水道企業団の水道水のもとになる水において、水道水に適用される水道水質基準値の8倍程度(1Lあたり0.45mg)のマンガンが多量に含まれた水が浄水処理しきれずに飲み水に流出(1Lあたり0.08mg)したものです。
マンガンが水道水中に含まれる塩素によって酸化され、黄色の水に見える可能性がございます。
備考 マンガンの水質基準値 1Lあたり0.05mg/L

Q-5 いつ発覚したのか？(マンガンの基準値超過について)

A-5 津軽広域水道企業団では毎月、水道水の安全を確認するために水質検査を実施しております。3/4に採水し、3/5にマンガンを含む水道水中の金属の水質検査を実施したところ、基準値の超過が発覚しました。

Q-6 いつ発覚したのか？(水道水の着色について)

A-6 3/5に構成市町村である水道担当課職員からのお問い合わせ時に発覚しました。

津軽広域水道企業団では各受水池に給水される前の水について、その着色の程度を色度として、水質計器を用いて連続でモニタリングしています。

3/1から徐々に上がりはじめたことから監視を強化しており、3/3～3/4にかけて急激に上昇しました。

通常時であれば、給水される前の水と各受水池の色度の数値には差がほとんど見られませんが、3/4に実施した色度の水質検査(午前中採水、14時頃帰団、夕方以降に水質検査実施)において、測定値の異常(数値が給水される前の水よりも高い現象)が見られたことから、翌日以降に再採水にて対応する予定でした。

備考 色度の水質基準値 5度以下

Q-7 ダムの水質悪化が原因か？

A-7 ダムの水質悪化が原因とは一概に言い切れませんが、要因としては、この度の大雪による融雪水の影響、ダムの水位低下やダム底等にある長年蓄積された土砂物からの影響が可能性として挙げられます。

Q-8 水が黄色なのだが、お風呂に入ってもいいのか？

A-8 温泉にも含まれている物質なので、差し支えないものと思われます。

Q-9 洗濯に使ってもいいのか？

A-9 服の色によっては、色がつく場合がありますのでご注意願います。

Q-10 トイレの水に使ってもいいのか？

A-10 差し支えないものと思われます。

Q-11 家庭用等浄水器で除去できるのか？

A-11 浄水器の種類によりますので、一概に全ての浄水器でマンガンが除去できるとは言えませんが、逆浸透膜を有するものだと除去できるとの報告もあります。